



日本ソーシャルワーク学会  
国際研究セミナー

# 国際舞台におけるソーシャルアクション ソーシャルワーカーによる国連アドボカシーとSDGs

アジア太平洋地域報告  
セバスティアン・コルドバ  
IFSWアジア太平洋地域国連代表





## セバスティアン・コルドバ 博士

国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域(IFSW-AP) 国連代表  
豪州ソーシャルワーカー協会 上級政策顧問

ロイヤルメルボルン工科大学(RMIT)  
ソーシャルワーク・対人援助サービス学部 講師  
ソーシャルワーク学士(BSW)課程 副主任



# ソーシャルワーカーによる国連アドボカシーとSDGs アジア太平洋地域報告

1. 背景と文脈
  - SDGsとソーシャルワーク
2. IFSW国連諮問委員会(アジア太平洋)
  - 概要
3. アジア太平洋地域の主要な課題
  - 2021年SDGs報告
4. アジア太平洋におけるIFSW国連アドボカシー
  - 取り組み例
5. 今後の取り組み





# 背景と文脈

## ソーシャルワークとSDGs





# ソーシャルワークとSDGs

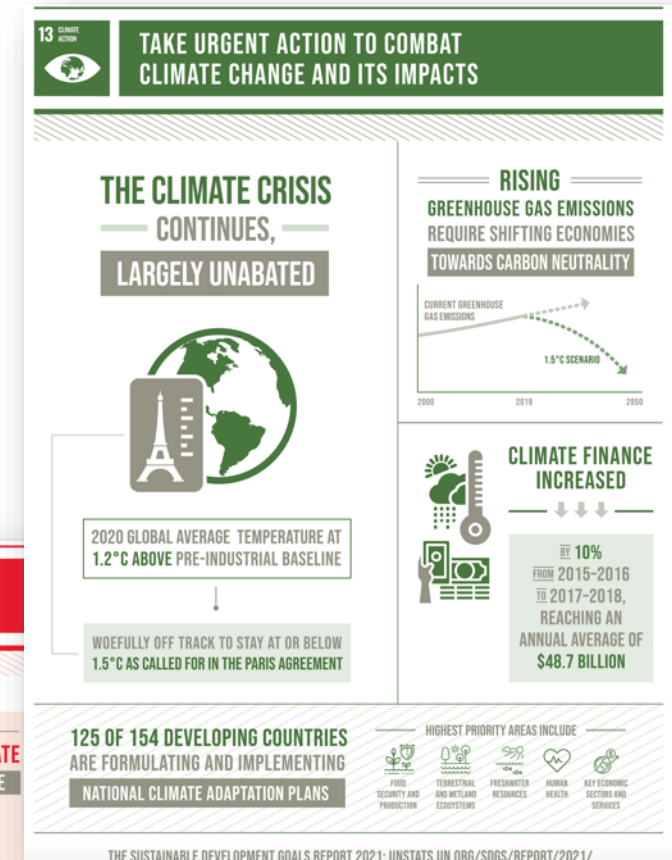
- 人権重視の専門職として、世界各地のソーシャルワーカーは、SDGsの達成に重要な役割を果たすことができ、実質的に果たしている
- SDGsとソーシャルワークは類似のことを語っており、両方とも包摂、平等、正義、また持続可能性の包括的な理解を推進している
- 複雑な問題の単純過ぎる理解、実態を伴わない「きれいごと」主義、また西洋植民地主義の浸透のため批判を受けてきた
- ボトムアップのアプローチが欠如しており、SDGsの実現に責任をもっているはずの加盟国自身が実施行動の主な障壁となっている
- 目標達成が遅れている



# ソーシャルワークとSDGs

コロナ禍は、世界中で持続可能な開発を後退させている。2015年のSDGsの採択以来、2020年に初めてSDGs指数の世界平均得点が前年より減少した。この後退は、コロナ禍に伴う貧困率と失業率の上昇に大きく左右されてきた。

国連 持続可能な開発に関する報告 2021年





# IFSW-AP 国連諮問委員会





# IFSW-AP 国連諮問委員会

- IFSWは、重要な課題とソーシャルワーク専門職についてアドボケートするために、国連に対して特別な諮問資格を有している
- IFSWの国連諮問委員会は、書面及び口頭報告、意見募集への意見提出、ソーシャルワークに焦点を当てる各種イベントによって、国連のあらゆる政策と人々の期待の間でギャップを埋める架け橋になることを目指している
- 2019年に設立されたIFSWアジア太平洋地域の国連代表部は、当地域における国連拠点に当たる国連のアジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)に7人の代表を配置している

## Asia-Pacific Region

W. Kotbungkair  
Regional  
Commissioner



✉ [Email Bio](#)

Zhe Wang  
Representative



✉ [Email Bio](#)

Sup Pyo Kim  
Representative



✉ [Email Bio](#)

Sebastian Cordoba

Representative



✉ [Email Bio](#)

Jude Douglas  
Representative



✉ [Email Bio](#)

Suresh Pathare  
Representative



✉ [Email Bio](#)

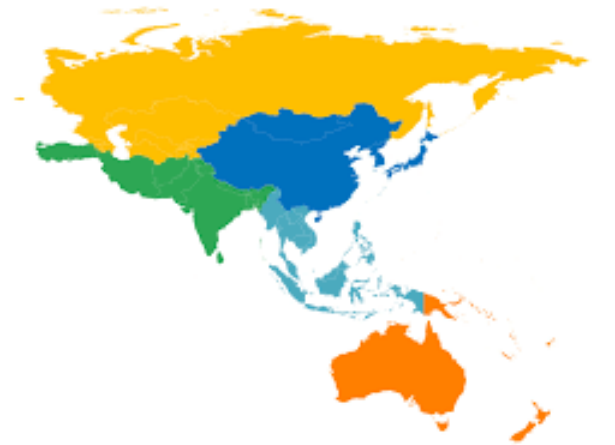
Hamed Olamaee  
Representative



✉ [Email Bio](#)

# 国連のアジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)

- ESCAPは、国連の5つの地域委員会の一つで、本部はタイのバンコクにしている
- 53の加盟国と9の準加盟国等が、持続可能な開発課題の解決に向けて取り組んでいる
- ESCAPは地域協力と「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実施を支えている
- ESCAPは、IFSWのような市民社会団体と密接に協力しながら、上記の目的を果たすための活動を展開している





# アジア太平洋地域の主要な課題



# アジア太平洋地域の主要な課題

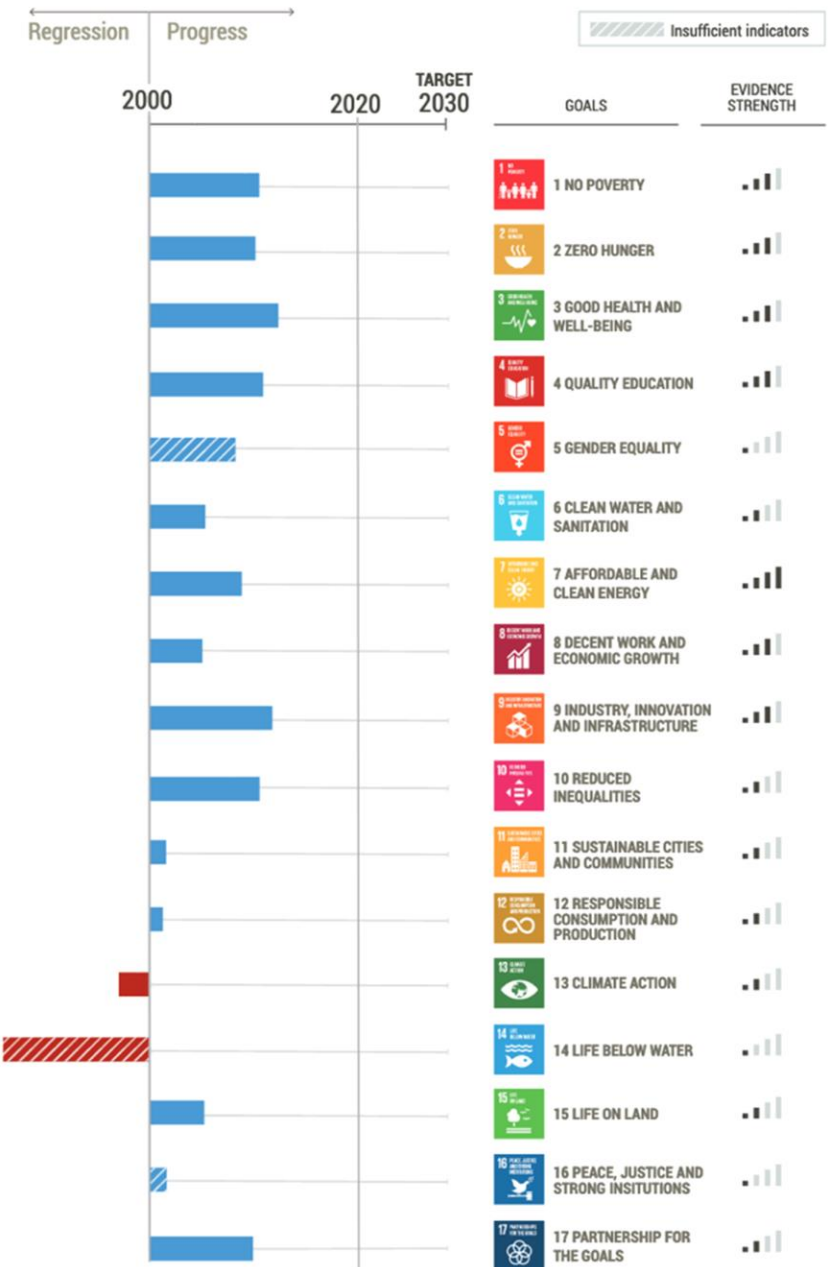
- アジア太平洋地域では、2030年までに17のSDGsを達成を見込めない
- 現在の進捗状況では、当地域はSDGs項目の10%未満しか達成できないかもしれない
- コロナ禍は、特に貧困と不平等に関連して、当地域に大きな打撃を与えた
- 一部の領域においては、目標達成のための基盤ができており、最も期待できる目標は、地域が最大の進展を示している保健・福祉(目標3)と産業・技術革新の基盤(目標9)である



# アジア太平洋地域の主要な課題

- 当地域は、気候変動対策（目標13）と海の豊かさ（目標14）という致命的な目標において後退を示している
- 一部の小地域は、いくつかの目標を達成するのに十分な位置にあり、例えば、東及び北東アジアは貧困撲滅（目標1）、安全な水とトイレ（目標6）、また東南アジアは持続可能な産業とイノベーションの促進（目標9）に向けて順調に進んでいる
- 各国政府が有意義な行動をとるためには、アドボカシーが必要である

FIGURE 1.1. SNAPSHOT OF SDG PROGRESS IN ASIA AND THE PACIFIC, 2020





# アジア太平洋における IFSW国連アドボカシー



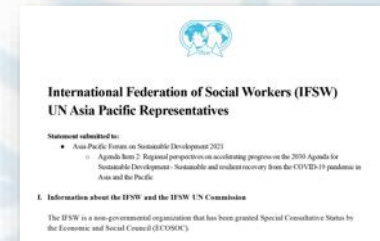
# アジア太平洋におけるIFSW国連アドボカシー

- 過去2年間にわたって、IFSWアジア太平洋地域の国連代表は人権、社会及び環境正義についてアドボケートするために、主要なフォーラムや会議に出席している
- 地域内の加盟国や NGO とのパートナーシップ構築と協働に焦点をおいている
- これらの活動は、声明文の発行、口頭での声明発表、公式な文通、地域サミット及びワークショップへの参加などを含む



# アジア太平洋におけるIFSW国連アドボカシー

- 昨年、これは以下を含んだ:
  - ESCAPのアルミダ・アリスジャバナ事務局長に対して、主要な地域課題に関するIFSWの正式な意見表明の提出
  - 国連ESCAPにおいてIFSWの傍聴資格のアドボカシーと取得
  - ユニセフと提携して世界ソーシャルワークデーのシンポジウム実施
  - 正式な意見書の提出先:
    - 第6回環境開発委員会
    - 2021年アジア太平洋持続可能な開発フォーラム
    - 第6回社会開発委員会
  - 国連に対して口頭での声明発表の場:
    - 第6回環境開発委員会
    - 第6回社会開発委員会
  - 複数のワークショップやシンポジウム
  - 第77回委員会と2020年及び2021年国連グローバル・ハイレベル政治フォーラムへの出席





# アジア太平洋におけるIFSW国連アドボカシー

## 取り組み例：第6回環境開発委員会

- 地域の主要な会議
- 気候変動に対するより顕著な行動とボトムアップ的なアプローチを求める正式な声明文の発行及び口頭での声明発表
- 加盟国は、その多くが世界最大の汚染者でありながらも、正反対の明確な証拠があるにもかかわらず、気候変動に対する努力を公然と称えた
- 国連体制におけるNGO部門の重要な役割と継続的なアドボカシーの強調





# 今後の取り組み





- 国連体制は限界があり、参加が保障されていない可能性が高く、非常にトップダウン的なアプローチをとっている
- 会議卓に席を確保されているのは誰なのか
- 解決策を担当するはずの者自身が主たる障壁や加害者であった場合はどうなるのか
- NGO部門と集団行動は明確な役割をもっている
- ソーシャルワーカーとソーシャルワーク的なアプローチ、特に政治的な行動は明確な役割をもっている

# 今後の取り組み

- 公式な傍聴資格をもって、国連ESCAP体制へのより一層の関与
- 正式な声明を含めて、主要な会議及びイベントへの参加継続
- 加盟国とのネットワーキングと協働
- NGOとの連携
- アジア太平洋地域における2022年世界ソーシャルワークデー企画





ありがとうございました

